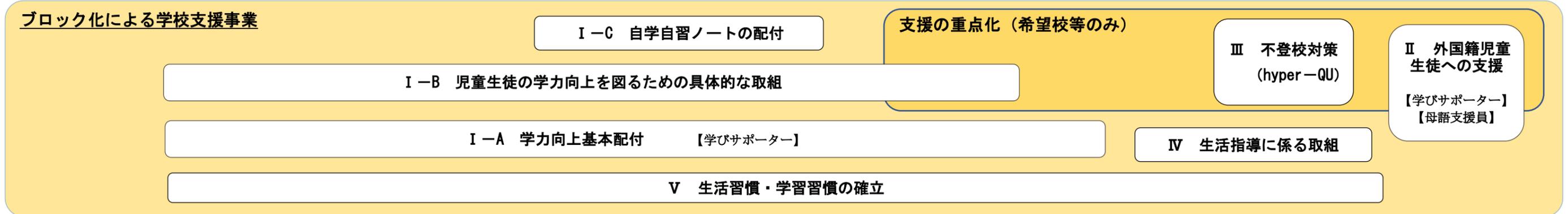


令和3年度 第3教育ブロックの小中学校 主な学力向上関連事業等イメージ

【学校に配置する人材】



教育委員会の取組

支援の重点化

学校力 UP 支援事業

○全国学力・学習状況調査等において継続して学力等の課題を有する小中学校のうちから、申請に基づき当該校を決定し、「学校力 UP コラボレーター」を配置する。
・学力向上等の取組に必要な予算を配付

【学校力 UP コラボレーター・学校力 UP サポーター】

学力向上推進事業

○教員の指導力向上を図るため、教育委員会が作成する指導資料等の活用などにより、「学力向上指導実践チーム」が授業改善に向け、実践的指導を行い、国語・算数科（数学科）における基礎学力の定着及び論理的思考力の育成を図る。

【学力向上推進指導員等】

がんばる先生支援事業

○教員の資質や指導力の向上、学力向上をはじめとする教育実践のイノベーションに向けた実践的な研究活動に対して支援し、その成果を全市に広める。
・対象の学校やグループへ研究経費を配付。

理科補助員の配置

○理科教育の充実を図るために、理科補助員を小中学校の5・6年に配置し、理科の授業における観察・実験活動の補助や教材開発の支援及び理科環境の整備を図るとともに、教員の資質向上を目指す。

【理科補助員】

学力向上を図る実践研究プロジェクト事業

○本市児童生徒の学力向上に向け、「主体的・対話的で深い学びの推進プロジェクト事業」及び「理科観察実験充実プロジェクト事業」を実施する。

特別支援教育の充実

○「共に学び、共に育ち、共に生きる教育」を一層推進し、発達障がいを含む障がいへの理解を含め、障がいのある児童生徒が地域で学びやすい基礎的環境整備を行うとともに、ユニバーサルデザインを取り入れた本市のインクルーシブ教育システムの充実と推進に取り組む。

・特別支援教育サポーター、インクルーシブ教育推進スタッフの配置
・医療的ケアの必要な児童生徒在籍校への看護師配置
・巡回アドバイザーの派遣
・キャリア教育支援センターでの実習 等

【特別支援教育サポーター等】

生活指導の充実

○人間尊重の精神を基盤とした生活指導を学校教育の根幹に位置付け、全教職員による計画的・組織的な指導体制を確立する。

・体罰・暴力行為を許さない開かれた学校づくりの推進
・生活指導支援員配置校の決定
・生活指導サポートセンター及び教育支援センターとの連携
・学校安心ルールの点検
・スクールロイヤーの活用
・こサポ SSW との連携

【生活指導支援員】

多文化共生教育の充実

○多様な文化をお互いに理解しあう態度を養い、文化や伝統を尊重し、多様な文化を理解する態度を養う。
○異なる文化を持った人々とともに生きていく資質をはぐくむことをめざし、従来の国際理解教育を多文化共生教育に発展させ、各校において教育課程内外で体系的に取組を展開する。

・外国につながる児童生徒の受入れ・共生のための教育推進事業（プレクラス・日本語指導員・母語支援員による支援・加配校/センター校、母語・母文化の保障、新しい多文化共生教育の推進）

【日本語指導員・母語支援員・国際クラブ指導員】

「校長経営戦略支援予算」基本配付

○校長が十分に裁量を発揮し、「運営に関する計画」に掲げた目標の達成に向け、学校が主体性をもって地域の実情等に応じた取組を推進する。
・学校の規模に応じて予算配付

学校力 UP ベース事業（習熟度別少人数授業）

○基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と、個に応じた指導の一層の充実を目指し、学校長が自校の学力向上の課題に応じて、より効果的に加配教員を活用。
・小学校3～6年生の国語・算数、中学校全学年の国語・数学・理科・英語

学力向上支援サポーター配置事業

○「新しい生活様式」をふまえた新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、子どもの学びの保障を徹底的にサポートする体制を整備する。

【学びサポーター】

学習教材データの配信

○多様な問題で構成された学習教材データを全小中学校等に配信し、児童生徒の学力に応じた問題を授業・放課後学習・家庭学習等で活用することにより、基礎学力の育成や応用・発展・活用問題に対応する力の育成を図る。

学力向上サポート訪問

○各小中学校の授業改善に資するため、指導主事等が担当校を訪問し、各種学力調査の分析から明らかになった成果や課題を共有するとともに、効果的な取組等についての情報提供及び授業についての指導・助言等を行う。

英語イノベーション事業

○グローバル社会において活躍し、貢献できる人材を育成するため、本市の学校における英語教育の強化を図り、積極的に自分の考えや意見を伝えることのできる英語コミュニケーション能力の育成をめざす。
・C-NETの配置、短時間学習による「小学校低学年からの英語教育」実施、大阪市英語力調査、小学校訪問研修 等

【C-NET】

学校教育ICT活用事業

○最新のICT機器を効果的に活用することで、協働学習や個別学習の充実を図り、主体的に学ぼうとする姿勢や自らの考えを伝えるとともに、他者の考えを理解し多様な人々と協働して問題を解決しようとする子どもの育成を図る。
・機器操作等の支援を行うICT教育アシスタントや授業改善を助言するICT教育推進アドバイザーの派遣、教員研修等

【ICT教育アシスタント・ICT教育推進アドバイザー】

学校図書館活用推進事業

○読書環境の充実を図るため、「学校図書館補助員」を全小中学校に週1回配置し、学校図書館の開館や読み聞かせ、館内環境整備、本の紹介、授業の支援などを行う。

・教職員に対する研修の実施や情報提供

【学校図書館補助員】